

# 『北九州ST125』2026

## 特別規則書

### 第1部 総則

#### [1] 大会名称・種目・会場・主催者

名称：『北九州ST125』2026 種目：スプリントレース

会場・主催者：北九州カートウェイ

#### [2] 開催クラス・参加申込料・傷害保険料

ST125（タイヤサイズ12インチ、新旧年式GROM・Z125混走）

※『GROMカップ』対象車両は、HRC車両規則に準じた仕様のものに限る

参加申込料 10,000円

傷害保険料 2,000円（手数料込み）※初回参加時のみ

#### [3] 大会日程（暫定）

全3戦にて行う。但し、サーキット都合により下記日程を変更する場合がある。

第1戦 4月19日10時～ 第2戦 7月19日13時～

第3戦 9月27日14時～

※GROMカップは、アドバンスクラスのみで開催となる（ルーキークラスは実施しない）

#### [4] レース成立及びGROMカップ車両の取り扱い

5台以上の参加申し込みをもってレース成立（開催）とする。それ未満の場合には、不成立（中止）となる。

『GROMカップ』ランキングについては、HRC指定の該当期間かつ該当者のみの着順にて計算する。付与ポイントは完走者（※）を対象として以下の通りとする。

1位：8点、2位：6点、3位：5点、4位：4点、5位以下：1点

（※）優勝者の消化周回数50%以上を消化し、かつチェッカーを受けた者

#### [5] 出場資格

レースに出場するに当り、知識（ルール、マナー、フラッグサイン）・技術を有している満18歳以上の者（各戦開催時点）。MFJ競技者ライセンスを所持していることが望ましい。

#### [6] 参加申込

大会への参加申込は、開催日1ヶ月前の午前9時をもって締め切りとする。

また参加者の都合により参加の取り止め（キャンセル）を行う場合、時期に関わらず参加料の100パーセントをキャンセル料とする。保険料も同様とする。但し、天変地異、台風接近、新型ウイルス感染等、やむを得ないと主催者が判断する場合には、この限りではない。

申し込み方法については、別途定める。

#### [7] ピットクルー

レース中にピットに立ち入り可能なピットクルーの登録は、ライダー1名につき2名まで（満18歳以上）とする。

**[ 8 ] 参加申込拒否**

主催者はその理由を示す事なく参加申込を拒否する事が出来る。その際、受領済みの参加申込料及び傷害保険料は、参加申込者に返還しなければならない。

**[ 9 ] 酒気帯び**

酒気帯び状態（二日酔い含む）での参加は、これを厳禁する。

違反が発覚した者は即刻『失格（レースそのものより除外）』とする。

**[ 1 0 ] 自己責任**

競技中コース上で発生した事故によるマシンの破損・負傷・死亡等の損害は、各ライダーの責任とし、主催者・競技役員・他のライダー等に対して何らの責任追及並びに損害賠償の請求は出来ない。

**[ 1 1 ] 車両及び車輪付き遊具の乗車・使用**

大会中はピット・パドック裏・駐車場など人が自由に行き来できる場所において、バイク・スケートボード・自転車等、車両及び車輪付き遊具の乗車・使用を禁止する。

また、敷地内外を問わずドローンの飛行を禁止する。

**[ 1 2 ] 送受信・交信・撮影装置**

主催者が貸与し装着を義務付けるものを除き、走行中のデータ（ラップタイム・回転数・映像等）を外部に発信する装置、外部と交信する装置（トランシーバー等）を車両・装備いかなる箇所にも搭載してはならない。

但し、ラップタイム計測等、データの内部蓄積を目的とする装置を車両に搭載する事についてはこの限りではないが、ネジ類を使用して（テープ類不可）カウルの内側の金属部分（車両（カウル）の外側に出てはならない）に強固に固定しなくてはならない。

**[ 1 3 ] その他**

本規則並びに車両規則等の変更、諸規則にない事項の解釈は、主催者において修正・解釈し、それをもって最終決定とする。

## 第2部 車両規則

### [14] ライダーの装備

- ① レーシングスーツ（革ツナギ、MFJ公認）・フルフェイスヘルメット・ライディンググローブ・ライディングブーツの着用を必須とする。乗車時に肌の一部が露出しないようにしなくてはならない。
- ② ヘルメットリムーバー、チェストプロテクター、脊髄パッド（革ツナギー体型も別途背負うタイプ必須）の着用を必須とする。
- ③ バンクセンサーなど走行中に直接路面に接触しうる装備について、金属製及び破損時に飛び散る可能性のある材質の使用を禁止する。
- ④ エアバッグ等、安全上有効な装備については、その着用を推奨する。
- ⑤ 競技長は、安全上好ましくないと判断した装備について、その改善をライダーに指示し、当該ライダーはこれに従わなくてはならない。

### [15] 車両

車両仕様は、別途定める。『GROMカップ』出場車両は、HRCの規定に基づくものとする。

### [16] ゼッケン

車両正面及び左右（シートカウルもしくはアッパーカウルの目視判別が容易な位置）にゼッケンを表示するスペースを確保しなくてはならない。

また、ベース・番号が同一系統の色、著しく崩した字体、蛍光色の使用、影を付す等、競技長が判別困難と判断した車両については、改善を指示する場合がある。

### [17] 永久欠番

ゼッケン26番はサーキット永久欠番につき、使用不可とする。

### [18] タイヤ

タイヤソフナー等、人為的にタイヤの品質を変化させる薬剤等の使用を禁止する。  
タイヤウォーマーの使用を認めるが、その電源は各自において用意する。

### [19] 車両保管

競技長が必要と判断した場合、決勝ヒート終了後、指定された場所に全車もしくは一部車両を保管する。保管に従わない車両については『失格（当該ヒート）』とする。

また、必要に応じて車両規定に適った仕様であるかの検査を行う場合がある。

## 第3部 競技規則

### 〔20〕フルグリッド

決勝の最大出走台数（フルグリッド）は原則として15台を超えない事とする。

### 〔21〕ウェイトリンググリッド

各ヒート前のマシン・ライダーの待機場所は、第一コーナー横とする。但し、主催者が必要と認めた場合、待機場所を変更する場合がある。その旨は大会当日の公式通知にて発表される。

### 〔22〕スタート合図

- ① 決勝レースのスタート合図は原則として信号旗（日章旗）にて行う。
- ② スタート合図前に走り出す行為（フライング）が発生した場合、赤旗中断の上、当該ライダーに対し1度目は警告を2度目はグリッド降格を科す。

### 〔23〕決勝ヒートの成立

決勝レースは、既定周回数の60パーセント以上を消化した時に成立する。

成立後の中断はその合図（赤旗提示）直前の着順をもって最終結果とする。また、成立前の中断については、スターティンググリッドで再スタートする。その場合の周回数は、既定周回数より消化した周回数を引いたものとする。

### 〔24〕ショートカット

ショートカットエリアの使用及び『近道』とみなされる行為については、その程度・危険性に応じ以下のとおり当該ライダーに対しペナルティを科す。

- ① 公式予選：持ちタイムに1秒上加算
- ② 決勝：当該ヒート1周以上減算もしくは積算タイム加算

### 〔25〕追い越し禁止違反

最初に黄旗が提示された地点より当該障害物までの区間での追い越しについては、その程度・危険性に応じ以下のとおり当該ライダーに対しペナルティを科す。

- ① 公式予選：持ちタイムに1秒上加算
- ② 決勝：当該ヒート1周以上減算もしくは積算タイム加算

### 〔26〕工具の持ち込み

ライダー・関係者を問わず工具類のコース内への持ち込みは一切禁止する。

### 〔27〕ピット・コース等への立ち入り

レース中のピット・コース立ち入り規制は、各大会公式通知等にて別途定める。

### 〔28〕整備不良

コース走行をする為に安全上不適切と判断されるマシン・装備について、競技長はオレンジ色のディスクを付した黒旗の提示をもって当該ライダーに対してピットインを指示する。当該ライダーは、不良箇所の修理・改善を行えば、コースに復帰出来る。

## [29] 結果発表

公式練習、予選、決勝の各結果発表完了後、5分経過をもって正式確定とし、その後は何人も抗議・異議申し立ては出来ない。

## [30] スポーツマン精神に反する行為

過度のブロッキング・プッシング・フラッグサイン無視、競技役員の指示に従わない等、スポーツマン精神に反する行為及び禁止事項の違反について、競技長はその程度に応じて以下のとおり当該ライダーに対してペナルティを科す。また、ヒート中必要があれば当該ライダーに対し黒旗の提示をもってピットインを命ずる。

- ① 失格（レースそのものより除外）
- ② 失格・順位剥奪（当該ヒートのみ）
- ③ 1周以上減算・積算タイム加算（決勝）
- ④ スタートイングリッド降格（決勝）
- ⑤ 持ちタイム1秒以上減算（予選）
- ⑥ 警告
- ⑦ 厳重注意

レース中に限らず、パドック内における喫煙など、不適切な行為に対しても必要に応じてペナルティを課す場合がある。また、違反行為がピットクルーによるものである場合、そのペナルティの効力は所属するライダーに及ぶ。